

浴衣かわいい!! 似合う?

留学生が着付けに挑戦

鳥取中央
RC企画

留学生たちに日本の伝統文化を体験してもらおうと6日夜、鳥取市湖山町西一丁目の湖山西公民館で浴衣の着付け教室が開かれた。中国や韓国などから来日した鳥大の留学生35人が参加し、涼しげな浴衣姿で七夕行事や盆踊りなど「日本の夏」を楽しんだ。

国際奉仕活動の一環として、鳥取中央ロータリークラブ（松下光昭会長）が毎年この時期に開いており13回目。同クラブ会員の妻らが留学生の着付けをサポートし、このうち女子留学生には色とりどりの浴衣が貸し出され、それぞれ気に入った絵柄の浴衣を選んで着付けに挑戦した。

留学生たちは着付け方法を教わりながら慣れない手つきで浴衣の帯を締め「着付けは難しいが、とてもかわいい」「背筋が伸びる」などと大喜び。

短冊に願い事を書いてササにつるす七夕行事や盆踊りなども体験し、中国出身の趙姝博さん（20）は地域学部は「水色の浴衣が私に似合うと思う。浴衣姿で花火を見に行きたい」と話していた。



RC 会員に手伝ってもらいながら着付けに挑戦する留学生たち